

送付票(本状含め2枚)  
宛先 各医療機関  
各地区医師会・歯科医師会・  
薬剤師会  
各市町村  
各市町村教育委員会  
送信者: 富士・東部保健所 地域保健課

御中

平成29年10月27日  
富士・東部保健所

## 感染症発生動向調査情報(週報)

2017年42週(10月16日～10月22日)

### ○ 山梨県内流行情報

A群溶血性連鎖球菌咽頭炎の報告数が中北保健所峡北支所管内で急増し、警報レベルとなりました。  
手足口病の富士・東部保健所管内の警報レベルは継続しており、全国の報告数よりも多い状況となっています。

また、百日咳の報告数は、峡東保健所管内で第36週から散見され、第42週から警報レベルとなりました。  
これらの感染予防には手洗い、マスクをすることに心掛け、感染予防に努めましょう。

【今週の警報】: A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(中北保健所峡北支所管内) / 手足口病(富士・東部保健所管内) /

百日咳(峡東保健所管内)

### ○ 富士・東部管内流行情報

手足口病の警報が継続しております。手足口病は、38℃台の発熱、食欲不振、舌・頬粘膜に発赤疹、手掌・足底・臀部に水疱といった症状がみられる感染症です。感染経路は接触感染と飛沫感染のため、マスクの着用やうがい・手洗いを徹底し予防に努めましょう。

### ○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	1201	0.24	3988	1.26	1390	0.44	5678	1.8	10614	3.36	1044	0.33
山梨県	1	0.02	36	1.5	7	0.29	64	2.67	74	3.08	3	0.13
中北	-	-	20	2.5	1	0.13	-	-	31	3.88	-	-
中北峡北	-	-	12	2.4	2	0.4	49	9.8	21	4.2	1	0.2
峡東	1	0.14	-	-	3	0.75	6	1.5	1	0.25	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.5	-	-
富士・東部	-	-	4	0.8	1	0.2	9	1.8	20	4	2	0.4
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	5630	1.78	149	0.05	1289	0.41	38	0.01	1298	0.41	1079	0.34
山梨県	46	1.92	-	-	7	0.29	7	0.29	2	0.08	13	0.54
中北	10	1.25	-	-	2	0.25	1	0.13	1	0.13	4	0.5
中北峡北	2	0.4	-	-	1	0.2	-	-	-	-	6	1.2
峡東	16	4	-	-	1	0.25	6	1.5	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.5
富士・東部	18	3.6	-	-	3	0.6	-	-	1	0.2	2	0.4
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	6	0.01	570	0.82	14	0.03	17	0.04	177	0.37	6	0.01
山梨県	-	-	4	0.44	1	0.1	-	-	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	3	1.5	-	-	-	-	-	-	-	-

(次ページあり)

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	42週		41週		40週		39週	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	横ばいです	平年並みです	0.02	1	0.02	1	-	-	0.05	2
RSウイルス感染症	増加しています	平年より多い発生数です	1.5	36	0.67	16	1.08	26	1.96	47
咽頭結膜熱	横ばいです	平年よりやや多い発生数です	0.29	7	0.38	9	0.38	9	0.33	8
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	増加しています	平年より多い発生数です	2.67	64	1.71	41	1.21	29	1	24
感染性胃腸炎	横ばいです	平年並みです	3.08	74	2.29	55	3.33	80	2.75	66
水痘	横ばいです	平年並みです	0.13	3	0.04	1	0.04	1	0.17	4
手足口病	横ばいです	平年よりやや多い発生数です	1.92	46	1.71	41	1.04	25	1.25	30
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	横ばいです	平年並みです	0.29	7	0.13	3	0.17	4	0.21	5
百日咳	やや増加しています	平年より多い発生数です	0.29	7	0.04	1	0.04	1	0.04	1
ヘルパンギーナ	横ばいです	平年並みです	0.54	13	0.38	9	0.46	11	0.79	19
流行性耳下腺炎	減少しています	平年並みです	0.44	4	0.33	3	1	9	1.33	12
急性出血性結膜炎	-	-	0.1	1	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	0.2	2
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	0.1	1	0.2	2	0.3	3
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1	1
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	0.1	1	-	-

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
五類感染症	梅毒	中北	男	30
二類感染症	結核	富士・東部	男	45
五類感染症	播種性クリプトコックス症	中北	女	82